

令和8年度 第1回 東北農政局国営事業技術検討会（再評価）

議 事 概 要

- 1 日 時：令和8年6月9日（火）14:05～16:00
- 2 場 所：河南二期農業水利事業所（石巻合同庁舎3階大会議室）（宮城県石巻市）
- 3 委 員：角田毅委員長、加藤千尋委員、島谷留美子委員、菅原紋子委員、永吉武志委員
- 4 内 容：

本年度の再評価対象である河南二期地区に係る評価結果書案等について説明し、審議を行った。
- 5 審議内容：
 - 永吉委員

総費用総便益費（B/C）は、当初の計画1.48から1.12となっているが、残工事において総費用の増額等によるB/Cが1.0を下回るリスクはないのか。
また、関連事業が遅れることによるB/Cへの影響はどう考えているか。
 - 河南二期農業水利事業所

試算したところ、残工期4年間の間に総事業費が34億円増額しない限りB/Cが1.0を切ることはないという結果となっており、今後の残工事量を踏まえるとそのようになることはないと考えている。
関連事業について、未着手地区の4地区は宮城県から令和11年度までは着手しないということを聞いており、効果についてもそのように整理しているため、影響はないと考えている。
 - 永吉委員

赤井堀排水路の工法変更について、工法変更以外の代替案はあったのか。また、最終的に全面改修を採用した理由について補足の説明をお願いしたい。
 - 河南二期農業水利事業所

当初は既設排水路の排水量を増強する分、既設ブロックを嵩上げて断面を確保する計画であったが、実施に当たり既設排水路の健全度評価や安定性評価

等を改めて行ったところ、健全性及び安定性が確保されていないことが確認されたため、全面改修とする判断に至ったものである。

○ 永吉委員

生態系配慮について、今回ミナミメダカが確認できなかったことは調査回数が少なかったことによるものではないかとの説明があったが、モニタリングは今後も継続して実施していく予定はあるのか。

ミナミメダカは小さい種であり捕捉が難しいものと考えられるため、最終的に確認できなかった場合には、モニタリング調査において環境DNA調査を採用することを検討してはどうか。場合によっては経済的になることもある。

○ 河南二期農業水利事業所

計画時点は3ヶ年にわたって全部で10回、筍堀排水路等で調査を実施したが、今回の再評価に当たっては、ビオトープに位置付けられている筍堀排水路で2日間の1回のみ調査であった。引き続き、モニタリング調査については実施していかなければならないと考えており、環境DNA調査の採用も検討していきたい。

○ 菅原委員

現在、資材等が入手し難い情勢の中で、工事用資材等が支障なく入手でき、計画的に事業を推進していける見込みはあるのか。

○ 河南二期農業水利事業所

現時点で、高圧ケーブルや塗料関係について入手し難いという情報は入っている。今後、状況をみながら対応をしていくことになると思うが、例えば、工事発注後、受注者が資材等を入手できない場合には、工期の繰越し等を検討しながら対応していく必要がある。

○ 菅原委員

感想であるが、水利施設の老朽化は自分の地域でも課題となっており、施設を改修することで生産者が安心して生産に取り組めるようになると思っている。また、区画整理も合わせて行えば、経営規模を拡大していくことの見通しも立ちやすくなるものと考えている。自分の地域の参考にさせてもらいたいと思った。

○ 菅原委員

現地視察を行う中で、農地周りの水路の一部が土水路の箇所も見られたが、水路等が整備されていないと営農上の支障となるため農地の集約が進まないといったことが考えられる。そのような箇所についても引き続き改修等を検討してはどうか。

○ 河南二期農業水利事業所

国営事業としては事業計画策定時に、国営での整備を判断した基幹的な施設を対象に実施しているところであるが、ご指摘のような水路の整備については、地域、県、市町村と連携しながら検討していきたい。

○ 加藤委員

効果について、維持管理費節減効果がマイナスとなっている理由は何か。

○ 河南二期農業水利事業所

「事業なかりせば」から「事業ありせば」を引いたものを効果として計上しており、「事業なかりせば」が施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理費であり、「事業ありせば」が本事業の実施により見込まれる維持管理費となっていることから、事業により更新される施設の維持管理がマイナス効果として計上されることになる。

○ 島谷委員

国営事業について丁寧な説明を受け、現地視察や関係者の話も含めて理解が深まった。

そのうえで、急速な少子高齢化と人口減少の中で大規模な工事により生産力が高まる一方、作った農産物をどこでどう販売し、誰に消費してもらうのかまでより深く考える必要があると感じた。各農家だけでなく、これまで以上に多くの組織や関係者が連携し、知恵を出し合いながら高収益化や市場開拓を加速させることが重要である。競争が激しく、流通環境も発達し、どこからでも商品が届く時代だからこそ、この点をさらに突き詰める必要があると考えている。そうした観点から見ると、これまで進められてきた国営事業は単なる生産基盤の整備にとどまらず、今後は販売や付加価値創出を支える基盤としての意味を持ち、より重要性が高まるのではないかと感じた。一方で、そうした取組を個々の農家だけで担うのは難しく、後継者不足などの課題も顕在化している。それでも、地区内では資料にあるとおり、女性や高校生の参画など担い手育成の取組や、ブランド化の努力など前向きな動きも進んでおり、こうした取組を関係

機関が連携し、さらに加速させることが重要と感じた。

また、水田農業が農業水利の技術に支えられていることについて消費者への理解を深めるため、地域の農産物の魅力と併せ国内外へ情報発信をより強く行うことが重要と考えている。

○ 河南二期農業水利事業所

国営事業としても水利施設を整備して終わりではなく、その先の営農のために実施しているため、農政の分野においても地域の方、県、市町村、土地改良区も含めて関係者と協議を行いながら、よりよいものにしていきたいと思っている。

○ 菅原委員

基盤整備の必要性を強く感じている。自分の地域では離農者が増え、農地を引き受けてほしいという話は年々多くなっている。さらに、米価の下落見通しや中東情勢の影響による油の入手難、資材不足も課題となっている。効率的な作業には基盤整備が不可欠だが、人手不足に加え、機械や設備、人件費などのコスト増も大きな負担になっている。このため、経営規模の拡大が本当に適切なのか悩んでいるが、一方で、将来を担う世代だけでは対応しきれないほど農地が集まっており、今後への不安や悩みがあるのが現状である。現場にはこうした課題があることを知ってほしい。

○ 河南二期農業水利事業所

国としては、基盤整備や少数での営農が出来るようスマート化を推進しているほか、法人化を進めることで世代交代をしやすくするなど様々な施策を組み合わせた対応を進めているところである。

○ 永吉委員

事業の本質的な価値がどこにあるかという観点では、現地視察で営農者から話があったとおり、地域農業の維持というところが一番大きく、これには担い手の育成というのにも含まれているかと思うが、評価項目のまとめにも記載されている。現地視察では、他に防災機能の強化や用水安定供給といった内容の話が営農者から聞かれたが、評価項目のまとめには記載されていない。軸足を地域農業の維持に置き、あえて外したのか。あるいは、防災機能の強化や用水安定供給という部分が評価し難いため、あえて落としているのか。若しくは、用水安定供給、防災機能の強化という部分も全て地域農業の維持につながっているため、あえて記載していないのか。

- 河南二期農業水利事業所
まとめとしては地域農業の維持という観点で整理しているが、記載ぶりについて改めて検討する。

- 角田委員長
先に説明のあった維持管理費節減効果がマイナスとして表れる点について、やや理解しにくい部分があると感じている。一般的な感覚としては、整備が進めばコストが抑えられるのではないかと捉えがちであり、結果として費用が増加するように見える点には違和感を持たれるのではないかと思う。
前提条件や計算の仕組みは承知したが、補足説明の追記や表現を工夫することで、理解を得やすくする余地があるのではないかと考えている。

- 角田委員長
営農計画の作付け率について、平成18年と令和7年で同じになっている。実績として正しいのか。

- 東北農政局
令和7年時点の作付け率は実績ではなく営農計画上の数字であり、作付け率は変わらないものとして、現在の作付け面積と単収を反映している。

- 河南二期農業水利事業所
国で10年前に作成した営農計画に大きな変更はないことから、作付け率は変えていない。

- 角田委員長
現地視察でも聞いた乾田直播栽培の進展といった営農の変化は、排水条件の改善など基盤整備の効果であると考えている。また、圃場条件の向上により耕作がしやすくなり、作付面積の拡大にもつながっていると考えられ、宮城県全体の動向との関係もあるが、本地区においては、こうした条件整備の影響が大きいと思われる。他方で、これらの変化は事業単独の効果のみで説明されるものではなく、留意が必要である。
さらに、今回の現地視察で確認した円筒分水工のような歴史的施設については、単なるインフラとしてだけでなく、地域資源としても価値が高く、意義深いものと評価できる。
これらの観点は、費用対効果等の定量的な評価に直接的には反映されにくい

ものであるが、評価書の中に盛り込むことで、事業の持つ多面的な意義がより適切に伝わるものと考えている。

○ 河南二期農業水利事業所

ご指摘の観点は、「技術検討会の意見」として取りまとめていただくことも含め、評価書に盛り込むことを検討する。

○ 島谷委員

評価項目のまとめにおいて「人口流出の最小化にも貢献」という記載がある。国営事業による効果は理解しているが、記載ぶりを工夫してはかがかかと思う。

○ 河南二期農業水利事業所

記載内容については検討する。

(以上)